

■会長/小口 泰幸 ■幹事/宮坂 康弘

◆司会=川村総一郎SAA、吉越 潔副SAA

◆ゲストビジター=国際ロータリー第2600地区諏訪グループ  
ガバナー 白鳥敬日瑚様、同ガバナー補佐 山崎廣和様、田  
中会計事務所 田中友崇様、佐久平広域防衛協会 大井喜徳  
様、柳澤洋介建築研究所 柳澤洋介様

◆出席報告

本日	54.9%	23名欠席
前回訂正	74.5%	8名欠席

◆ラッキーナンバー=No. 5 平林正光君

◆ニコニコボックス=●小口泰幸君・宮坂康弘君=本日はガバナー公式訪問例会です。白鳥ガバナーようこそいらっしゃいました。よろしくお祈りします。●平林明君・岩波寿亮君・川村総一郎君・小林由孝君・合田敦子君・玉本広人君・吉越潔君=白鳥ガバナー、ようこそ諏訪ロータリークラブへ。●山本寛君=ガバナー、諏訪へようこそ。●小口武男君・浅見英男君=白鳥ガバナー、山崎ガバナー補佐ようこそ、お待ちしております。また、諏訪県工業メッセを行っています。時間のある方はぜひお寄りください。●三澤郁馬君=結婚祝のお花を頂きまして有難うございました。●平林正光君=ラッキーナンバーに当たりました。

◆会長告知・小口泰幸君=前回、安川さんがガバナーをされたときに大きな課題が3つあり、その1点目までお話ししましたがその続きです。

課題の第2点目。これは三井さんもお承知のように、16年経ちましたからお話はしますけども、安川さんの前の前の年度のガバナーの時に地区運営規約というのを作って、安川年度にこれを実行してほしいというのが地区の流れでありました。これは賛否両論がありまして、諮問委員会の人たちも賛成派と反対派、大議論をしました。中には、この会場から出て行け、いる必要がない、というような罵声まで飛ぶほど議論をいたしました。安川さんにその地区運営委員会をやるのか、やらないかの判断が託されました。そこで、安川さんと三井さんも交えましていろいろ話をしました。

とにかくガバナーとはどういう立場の人か、これはロータリー章典というのがありまして18章ぐらいありますが、いろんなことが細かく全部書いてあります。そこにガバナーとはこのようにしなさいと書いてある。ガバナーというのは、まずRIの役員、これが第1です。そしてガバナーの仕事というのは、地区の運営、ガバナー月信の発行、地区大会、それから地区のクラブの公式訪問をしてRIに報告をする、これは絶対にやらなければいけない。これがガバナーの仕事です。

そうなりますと、RIの役員を地区の規約で縛ることができるのかできないのか、そういう議論にたどり着きまして、安川さんにそういう流れの中ですけども、これはとにかく地区運営委員会というのは立ち上げないで、このままで行きましょうという結論を出しまして、1つの大きな課題を乗り切りました。

課題の3点目。ロータリーには財団という組織があります。

財団は、皆さんもお承知のように、ポリオの撲滅というのが大きな目的であります。今はポリオプラスになっていますが、プラスとは例えば百日咳、麻疹などいろいろな感染症を加えたもので、ポリオは減ってきましたが、他の感染症を加えてポリオプラスというように言われます。基本はポリオをなくすことです。

そして皆さんもお承知のように、アメリカのビル・ゲイツさん、この人は感染症に大変な関心を持っており、ビル&メリンダ・ゲイツ財団が日本円で100億円出すから、ロータリーのメンバーも100億円用意しなさい。これが条件でした。

これもまた議論百出の一つです。なぜかと申しますと、ロータリーのいわゆる奉仕活動は強制してはならないという声明があります。それはロータリー活動の社会奉仕に関する1923年の声明というのが1923年の34番目の決議であり、決議23-34社会奉仕活動に対する方針として採択をされている。それはロータリー章典に明記されています。

ちょうどロータリーメンバーが約100万人でしたので、1人1万円で割り当てるという話になりましたが、それはその決議に反するというので、これも大変揉めました。それで最後の落としどころが、それをクラブのメンバーを目標にして、クラブ会員数に相応したお金を出していただくことで、その時は全世界のロータリーメンバーが100億円出しました。そして、2009年にビル&メリンダ・ゲイツ財団では、条件なく150億円をロータリーへ寄付していただいた、そのような流れがありました。この時の2008-2009年というのは、ロータリーの特殊な流れだと思いますが、先ほど話をした決議23-34の規定というのは、ビル&メリンダ・ゲイツ財団から寄付をもらった時に、この2年間は、この文言を休止しようということをやりました。

この3つが安川年度に課題としてクリアしなければならない事でありました。そういう中で、安川さんは当時エプソンの相談役、それから長野県経営者協会会長、その前は長野オリンピックパラリンピックの実行委員長、いろんな方面で実績を残し、実績を上げられ、そういう方でしたから、安川さんならこれらの改革をやってくれるだろうと、乗り切れるだろうと安川さんへの期待となり、安川さんになりました。その時の地区幹事を何とか務めさせていただきました。

今考えてみると、先ほどもお話ししたように、賛否両論の百出する中で、どちらかにジャッジしなければいけない、どちらかに方向転換しなければいけない、という年度でした。これぐらい嫌われたり「おいおい」と言われた地区幹事はいないと今思っております。でも今の持続可能な方向付けが出来たと思っております。

三井さんがガバナーをされた年度でこの地区幹事をやられたのはミクロの小島正也さんと、有賀昭彦さんは地区大会担当副幹事をやられました。

とにかく、この40年間いろいろなことでロータリー活動をさせていただきましたが、結果を申し上げますと、ロータリーはサロンではありません。先ほどお話ししましたように、ロータリー章典という18章に及ぶ決めがあります。

その中でやらなければいけないというのは、皆さんもお承知のように5大奉仕です。クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、昔は4大奉仕、今は青少年奉仕が入りまして、5大奉仕になっています。四つのテストに従って、この活動するこ

とがロータリーの基本です。

このロータリーの奉仕活動をみんなで活動することがロータリーを高めていく、そのように思っております。それぞれの皆さんがいいロータリーライフを送るためには、ロータリーに参加することです。参加をしなくてはロータリーの奉仕活動は何もできませんので、参加をしてロータリーを作っていく、こういうことだろうと思います。

2008-2009年の安川さんの時に地区幹事ということでいろいろなことを経験いたしました。本当にいい経験をさせていただいたと思っております。以上、森幸俊会員の会員セミナーでの講話を紹介させていただきました。

◆幹事報告・宮坂康弘君＝①本日の例会は、白鳥ガバナー公式訪問です。白鳥敬日瑚（しらとり・のりひこ）ガバナー、よろしくお願ひ致します。例会終了後、諏訪湖畔のブロンズ像「空へ」前で、記念写真の撮影を行いますので、ご移動をお願いします。②諏訪湖畔での写真撮影のあと、理事会を開催いたします。理事会メンバーの皆さまは、ぬのはん1Fラウンジにお集まりください。

◆委員会報告●小林由孝親睦・クラブ親善委員長＝11/24（日）恒例のバスハイクを予定しています。今月末31日までにご連絡をお願いします。



●小口泰幸会長＝歴代会長会の件でご連絡です。次期役員及び理事候補者指名委員会は、クラブ内規により年次総会の1か月前の例会で指名委員の委嘱を発表するとありますが、指名委員会を11月1日金曜に実施しますので、本日発表させていただきます。現会長・幹事・会長エレクト・副会長・副幹事の5名と、歴代会長経験者の方々に指名委員を委嘱します。よろしくお願ひします。



◆クラブ協議会 ガバナー公式訪問卓話●国際ロータリー第2600地区諏訪グループガバナー 白鳥 敬日瑚様＝皆さん、



こんにちは。ガバナーの白鳥です。本日はこの日を非常に楽しみにしていました。諏訪ロータリークラブの年間計画書は、2600地区ピカ一の素晴らしい計画書で、伝統が受け継がれていることの表れだと思います。

ガバナー訪問において、数百名の方とお会いしてきました。その中で思ったことをもとに、今年の方針を決めさせていただきました。「ロータリーはあなたと私の出会うところ」「次の世代に何を渡せるかともに考え、行動しましょう」とします。ロータリーには非常に素晴らしい方が多いと思います。ロータリーでの活動を通じ、人生の苦難を乗り越えた諸先輩は根本的な部分で人間が大きいと感じます。自然に出会いを作って頂き、交流するのがロータリー活動なんだということをあらためて感じ、方針を決めました。本日より一緒に来たメンバーも、昨日急遽参加できなくなってしまったメンバーに変わって、急な参加を引受けてもらった、友情に厚いメンバーです。

先ほど、小口会長と宮坂幹事とお話をさせていただきました。クラ

ブ計画書を非常によく考えておられ、読みやすいことにすごく気をつけておられます。当クラブは伝統と歴史があり、小口会長にはその重みはずっしりと備わっていると思いますし、役目をしっかりと果たされておられます。また、3名の方に当地区へ出向頂き、大変助かっております。

現在は、世界も混乱と激動の時代ですが、このような時代は次の時代に向けたステップアップとなるのが、歴史的にもわかっています。天変地異やパンデミックが起り、新技術が開発されるという3点はそのサインです。1860年の江戸時代と同じような転換が今起こっていると思います。コロナを経て、教育が大きく変わりました。文部科学省による小中学校へのタブレット配布は、教育の現場を大きく変えます。若い子供たちがタブレットを使いこなし、彼らが大きくなると、世の中ががらっと変わります。今のうちから法整備をして、そういった技術を正しく使うようにすることが大事だと思います。

世界の紛争により、罪の無い子供たちの命が失われています。国連が機能不全な中、ロータリーにできることは何かというと、会費を通じて1人でも多くの子供たちを助けることです。米山奨学生もその1つです。諸先輩の素晴らしい活動が、今につながっています。

最後に、資料に沿ってお話をします。今年のテーマは「THE MAGIC OF ROTARY」です。第2600地区のクラブ分布をみますと、20名以下のクラブが14クラブあります。この14クラブの皆さんは、少人数で素晴らしい活動をしています。ただ高齢化が進んでいることが課題で、いかにこういったクラブを存続させるかが今後の活動において大事です。

次に、地区標語です。「LIFE 5」とあります。これは命の5%という意味で、5%の会員を増やせば5%の子供の命を助けることができるという意味です。この意味で、会員増強が必要ということです。

地区重点行動計画以下、資料を読んで頂ければと思います。地区の課題と対策案は、皆さんからご意見を頂き、奨学会夢の実現プロジェクトや新入会員セミナーは、非常に好評でした。最後のページのように、子供たちの未来はとても重要です。子供が今、姿勢が悪くなり、長野県は自殺率が日本全国第3位、不登校も多くいます。ぜひ皆さんの力で、子供たちにご支援を頂ければと思います。

最後に、今年の地区大会は11月9日と10日、軽井沢プリンスホテルで開催します。テーマは結びとさせていただきます。平和の礎は数々の経験をした日本から始まるということを感じております。有難うございました。

#### ◆今後の例会日程

10/25(金)	アクト合同例会（アクト会員増強について）
11/1(金)	クラブフォーラム（ロータリー財団）
11/8(金)	準法定休日
11/9・10 (土・日)	2024-2025年度地区大会